



農地面積 23 区 1 位の練馬ならではの！ とれたて地場野菜を使って

## 農業体験農園で炊き出し訓練を実施

と き	11月9日(日)正午～午後1時30分(雨天中止)(収穫・炊き出し作業は午前8時から)
と ころ	緑と農の体験塾(農業体験農園)(練馬区南大泉3-17地内)

9日、南大泉3丁目町会(会長：加藤 義松)が農園内で、町内にある地場野菜を活用した「炊き出し訓練」と、中高生ボランティアによる「地下水運搬訓練」を行う。都市農地を活用した震災訓練は大変珍しく、区内では初めての試み。

災害時には避難場所にもなる農地で、地場野菜を収穫し、その場で炊き出し用の食材に転用・配給することで被災者の「食」を確保する訓練で、当日は約200人以上が参加する予定。(参加申し込みは既に終了しています)

農地は農産物の供給のほか、多面的機能を持つ。練馬区の農地面積は23区最大であり、こうした大規模な都市農地を活用して行う震災訓練は、練馬ならではのと言える。主催：南大泉3丁目町会

### 【訓練の内容】

【炊き出し訓練】 豚汁と五目ご飯(共に300食分)を用意する。豚汁は加藤農園内の農地にある野菜を、その場で収穫し、地下水を使って調理する。収穫する野菜は大根・人参・ネギ・里芋の4種。五目ご飯はアルファ米を使用する。

【地下水運搬訓練】 震災時には、生活用水が高齢者宅へ行きわたらないことが想定できるため、地域の中高生の力を借りようと企画された訓練。区内の学校に通う中高生ボランティア約30名が、井戸を設置している区民宅へ訪問し、くみ上げた水を、地域の高齢者宅へ運搬する。

### 【都市農地が持つ役割(多面的機能)】

農地は以下の役割を持っています。

- 1 新鮮で安心な農産物を地元を提供します 【農産物供給機能】
- 2 住民が農に触れる憩いの場となります 【レクリエーション・コミュニティ機能】
- 3 住民の健やかな生活を支えます 【福祉・保健機能】
- 4 ヒートアイランド現象を緩和します 【環境保全機能】
- 5 幅広い世代の学びの場となります 【教育機能】
- 6 防災のための空間になります 【防災機能】
- 7 良好な景観を作ります 【景観形成・歴史文化伝承機能】

今回の訓練では特に「6 防災機能」について注目しており、主催者の農園主は「都市農地の持つ防災機能が実際どれだけ発揮されるか、訓練を通じて問題点を整理したい」と話している。

### 【農業体験農園とは】

農業体験農園とは、園主(農家)の指導のもと、利用者が種まきから収穫までを体験することができるもので、練馬を発祥とする新しい農業経営の形態である。「緑と農の体験塾」は、この第一号として平成8年に開園した。今回の訓練により、都市農地の持つ防災機能の発揮とともに、農業体験農園を中心とした地域の交流が期待できる。

【問合せ】産業経済部 都市農業課 農業振興係 電話03-5984-1403